

# 算数科学習指導案(略案)

平成22年 6月 9日(水)第4校時

4年1組(教室) 指導者 石田 俊彦

1 単元名 はしたの大きさの表し方を考えよう(小数)

2 本時の学習(全11時間分のうちの6時間目)

(1) ねらい

簡単な場合の小数のたし算のしかたを考えることができる。

(2) 準備

教師：学習プリント、学習プリントの拡大、教科書

児童：教科書、ノート

(3) 展開

学 習 活 動 (児童のつばやき、動き など)	時間	学習活動への支援及び留意点 (人権教育にかかわる配慮事項には ~~~)	観点評価項目(方法) おおむね 十分 努力を要する児童への手だて
1 問題1(既習問題...整数のたし算)を考える。 式を立てる 言葉の式を考える。	5	学習プリントやその拡大掲示物 を活用し、時間の節約をする。 簡単に解けるような既習問題( $5\ell + 3\ell = 8\ell$ )を提示し、立式を させたり、言葉の式を考えさせたりする。	
2 問題2(未習問題...小数のたし算)を考える。 問題1と比べて、共通点と違いを考える。 問題のしくみが同じであることを理解する。 ことばの式を考える。 式を立てる。 これからの学習が小数のたし算であることを知る。	8	問題1の数字の部分だけを変えた、問題2を与えることで、それぞれの問題が、同じ構造であることを理解させた上で、式を立てさせる。 今後の学習が小数のたし算であることを意識させる。	
3 課題「 $0.5+0.3$ の計算のしかたを考えよう! *今までの学習を生かして。*図なども使って)」に取り組む。 自力解決	15	<u>自分の考えをしっかりと持つことや考えがまとまらなくても、考えたところまでを伝えられるように、一生懸命考えるよう指示をする。</u> <u>真剣に考えている児童に対して、賞賛や励ましの言葉をかける。</u> 机間指導の中で、数名を指名し、板書させる。	<b>考</b> $0.5 + 0.3$ の計算のしかたを考えたことができてい る。 $0.5 + 0.3$ の計算のしかたを多様な(2つ以上の)方法で考えることが できている。

